

平成25年度 第2回生涯学習センター運営審議会 会議録

- 1 開催日時 平成25年10月21日（月） 9時30分～11時30分
- 2 開催場所 14A会議室
- 3 出席委員 17名  
増渕委員長，大矢副委員長，竹内委員，伊藤委員，橋本委員，中山委員，宮本委員，  
吉田委員，野崎委員，赤坂委員，森野委員，久保井委員，齋藤委員，片桐委員，  
飯野委員，岸委員，宇賀神(光夫)委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内容  
・ 議事
  - (1) 報告事項
    - ① 平成26年宇都宮市成人式について
    - ② 平成25年度生涯学習センター文化祭について
    - ③ 生涯学習課及び生涯学習センターにおける各種講座のあり方について
  - (2) 協議事項
    - ① 平成26年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）について
  - (3) その他
    - ① 宇都宮市民大学（前期講座）の実施状況について
- 7 発言の要旨

増渕委員長	では，報告事項①「平成26年宇都宮市成人式について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
増渕委員長	会場が昨年度から一部変更になったようですが，そのあたりについて事務局から何かありますか。
事務局	アピアが会場として利用できなくなったことから，次回の平成27年成人式会場については，十分に検討する必要があると思っております。今回

の成人式の終了後に、各実施委員会に意見を伺いまして、次回の平成27年成人式の会場選定を行っていきたいと考えております。

増渕委員長

ありがとうございました。補足説明がございましたが、何かご意見等ございませんでしょうか。

吉田委員

成人式実施委員会の件についてですが、中学校区ごとに実施委員会を組織し、運営をするのですが、実施委員には、新成人から主体的に何人か人選された方と、その他に地域の団体から実施委員になられている方もいると思います。そこで、どのような方が実施委員になっているかということが、地域にどこまで周知されているかが、若干不安です。ある年度においては周知されていても、それが3年、5年と過ぎていくうちに、地域への周知が不十分になってくる傾向にあるような気がしますので、そのあたりを事務局としてどのようにお考えなのか、お伺いしたいと思います。よろしく申し上げます。

増渕委員長

ただ今、吉田委員からご質問がございました。実施委員の周知・徹底について、どのような形になっているかというご質問ですが、事務局申し上げます。

事務局

ご意見ありがとうございます。現在は、地域のまちづくり協議会や、学校のPTA関係者など、いろんな方がそれぞれの地域の状況に応じて実施委員ということでお力添えをいただき、各地域が特色ある成人式を実施しているところです。

各地域への周知ですが、まちづくり協議会等におきましては、役員会や総会の場で少しお時間をいただき周知を行っています。また、自治会連合会につきましても、会議等で少しお時間をいただいて成人式へのご協力について周知をさせていただいております。

そのほかには、当時のPTAの方を中心に実施委員を組織している地域もありますので、今後もそのような各地域の会議等の場をお借りしまして、周知を進めてまいりたいと考えております。よろしくお願ひいたします。

吉田委員

ありがとうございました。自治会連合会や、まちづくり協議会等には、実施委員会の名簿等が出ていないかと思しますので、そのあたりの連携をよろしく申し上げます。

増渕委員長

ありがとうございました。これについては、事務局は時期的に対応できますか。例えば、名簿を関係団体に周知するようなことは可能でしょうか。

事務局 各地域によって立ち上げ時期に差がありますが、どのような形で地域に周知ができるのか検討させていただいて、地域に周知できるような形で進めてまいりたいと思います。

増渚委員長 ありがとうございます。それ以外に何かありますか。

森野委員 会場の件について、意見を申し上げたいと思います。私は陽南中学校区の成人式の司会を29年間やってまいりました。以前は会場が真冬で暖房がなくて、極めて条件が悪い中で成人式が行われてまいりました。成人者の皆さんも、寒くて会場に入らない。会場に入っても冷たくて着席しない。式が始まっても私語が途切れない状況でした。

それが、会場がホテルに変わったところ、一気にそれらのことが全て解消いたしました。式も整然と、成人者も式を受けるという自覚があって、見事な成人式が開催されてまいりました。

先程の事務局からアピアの問題が出ましたが、私は出来るだけ会場は良い会場を用意してもらいたいと考えております。成人者に自覚させるためにもお願いします。

増渚委員長 ありがとうございます。会場設備に応じて成人式の内容がかなり左右されるということでしたが、事務局の方で、今回の実施予定の会場として、そのあたりの懸念は、どうでしょうか。

事務局 ご意見ありがとうございます。今年度は、ホテル以外の会場は、アピアの代替として使用いたします、「明保野体育館」と「とちぎ健康の森」がホテル以外の会場になります。実施委員会等からも、やはり寒さ対策をきちんとしていただきたいという要望も受けておまして、そのあたりは十分な対応をしてまいりたいと考えております。

また、会場については、新成人で出席された方もホテルでの実施は非常に良い、引き続きやっていただきたいという意見がほとんどを占めている状況です。会場につきましては、例えば、1日ではなく2日でやるなど、いろんな方法がありますので、十分に検討を行い、平成27年成人式に反映していきたいと考えております。

増渚委員長 ありがとうございます。他にどうでしょうか。

宮本委員 成人式は25の中学校区で実施されているようですが、式の内容で、式典と地域交流事業があると思います。式典はこの会場でも同じような形で行われると思うのですが、地域交流事業というのは、どのようなものが実施されているのでしょうか。また、特に共通な事業はあるのでしょうか。参考までにお聞かせいただければと思います。

増渕委員長      ありがとうございます。地域交流事業ということで、地域によって何らかの工夫なり、違いが出てきているのかどうか、そのあたりの内容がもし分かれば教えていただきたいということですが、事務局どうでしょうか。

事務局            地域交流事業につきましては、実施委員会で独自にそれぞれ検討していただいて新成人とともに企画して実施していくという形です。昨年度の特徴ある事業といたしましては、例えば、地域の農産物とか加工食品みたいなものを仕入れ値でご提供いただいて、新成人に提供するというような事業をした中学校区もあります。

                    また、地域の幼稚園児など、地域の子どもたちも一緒に参加していただいて、太鼓とかいろんなものを発表していただいて、子どもと一緒に盛り上げていくというような事業をしているところもあります。

                    共通の内容につきましては、写真については、当時の恩師と一緒に記念撮影を撮るといようなことをする地域がほとんどでございます。その他は、自由時間になりますが、当時の学友や恩師と昔話に花を咲かせるというようなものも必ず行われているのではないかと思います。

増渕委員長      ありがとうございます。よろしいでしょうか。

竹内委員         私も陽東中学校の実施委員会の委員の一人として成人式に関わってきました。各生涯学習センターの職員の皆さんが非常に苦労されているのを目の当たりにしてきました。特に、地域交流事業についてなのですが、新成人の方が一番盛り上がるのは、恩師の方、当時いろいろお世話になった先生が出てきてくれるというのが一番喜んでいるようです。そういったことからぜひ、当時の恩師の先生はなるべく出ていただけるように早い時期に成人式の日程等をお知らせしていただくとありがたいなと思っております。

増渕委員長      このあたりについて、事務局の方でどんな対応をされているか一言、ご意見いただければと思います。

事務局            各中学校区宛てに、成人式の出席について、ご依頼の通知を出させてもらってございまして、本年度につきましては、9月頃に通知を送付しておりますので、各中学校区の先生方も来年1月の成人式については、既に把握されているとは思いますが。

増渕委員長      ありがとうございます。9月には大体ご依頼の案内を出しているということでございます。それ以外にありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、無いようですので、以上といたしたいと思います。

次に報告事項②、平成25年度生涯学習センター文化祭について、事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

増渕委員長

ありがとうございました。本年度の生涯学習センターの文化祭開催概要につきまして、ご説明いただきましたが、委員の先生方から、何かご質問、ご意見ありますでしょうか。

それでは、お考えいただいている間に、各センター長が臨席しておりますので、センター長の方で、既に文化祭を実施したセンターの方で、何か感想等がございましたら一言ずつでも結構ですので、お願いできればと思います。それでは、北生涯学習センターをお願いします。

事務局（北）

我々、北生涯学習センターにおきましては、例年よりも約1か月ほど早く文化祭を開催いたしました。9月28日～30日、10月1日と4日間にわたって実施しました。最初の2日間は、例年通り北生涯学習センターにおいて作品の展示及び模擬店の出店ということで実施しました。残りの後半2日間、月曜日と火曜日におきましては、センター内ではなくて、近くのとちぎ福祉プラザにおきまして、演芸発表会及び社交ダンスフェスティバルを実施しております。会場の広さや、参加者のご意見をふまえて、とちぎ福祉プラザで実施したところでありまして、昨年と同様に、今年度におきましても、盛大に行われましたことをご報告申し上げます。

増渕委員長

ありがとうございました。大体、どのくらいの参加人数があったか分かりますか。

事務局（北）

延べ人数で恐縮ですが、作品展示におきましては、各部屋ごとに入場者数をカウントしております。その入場者数から類推すると、約600人近くが、作品展示ではご来場いただいていると考えております。

なお、演芸発表と社交ダンスフェスティバルは別々の日程ですが、来場者数について、おおよそですが、演芸発表については250人、社交ダンスフェスティバルについては190人といったところになります。

模擬店を含めると、2000人以上の来場者があったと考えております。

増渕委員長

ありがとうございました。盛況だったということですね。

委員の方々、他に何かご意見、ご質問ございますでしょうか。資料の参考の表では、10月5・6日に秋桜祭がありますが、これについては、中央生涯学習センターでは、まだ開催はされていないのでしょうか。

事務局（中央）	<p>中央生涯学習センターの文化祭は、11月8・9・10日になります。秋桜祭は、地域コミュニティセンターの一つである、中央コミュニティセンターの文化祭として、10月5・6日に開催いたしました。</p> <p>秋桜祭については、中央コミュニティセンターを利用して、サークル活動をしている地域の方々の発表の機会ということで、中央小学校の体育館を会場にして、お茶会や地域の方が音楽に合わせてカラオケをするなど、非常ににぎやかな状況でした。</p>
増渚委員長	<p>その他、委員の方々から、ご意見、ご質問など、ございますか。吉田委員よろしくをお願いします。</p>
吉田委員	<p>参考までにお伺いしたいことがございます。主催は全て実行委員会という名前になっておりますが、実行委員会の構成について教えていただきたいと思えます。</p> <p>また、運営審議会の方々は、実行委員の中にどのような立場でご参加されているのか、参考までにお教えいただくとありがたいと思ひまして、ご質問いたします。</p>
増渚委員長	<p>これは、事務局にお答えいただいた方がよろしいでしょうか。</p> <p>開催概要の中では、文化祭実行委員会が設置されておりますが、この実行委員会の委員の構成等について、お分かりならば教えていただきたいということでした。また、当委員会の関わり方についても何かあれば、教えていただきたいということですが、どうでしょうか。</p>
事務局	<p>資料の参考①と参考②をご覧いただきたいのですが、①の方から申し上げますと、東・西・南・北・中央生涯学習センター5館と、上河内と河内の生涯学習センター、トータル7つの生涯学習センターの文化祭につきましては、生涯学習センターの文化祭という位置づけになっており、基本的に生涯学習センターを利用していただく方の文化祭となっております。</p> <p>その他、参考②に中心部の25地区、それと周辺部の地区市民センターを併設しているような清原とか平石などにつきましては、地域の文化祭という位置づけになっており、基本的にはまちづくり協議会などの、地域まちづくり組織が中心となっております。</p> <p>実行委員会の構成団体は、いろいろありますが、例えば、ある地区では体育協会が入っているところもありますし、育成会が入っているところもあります。基本的には地区文化祭は、まちづくり協議会の文化的な事業をやるところや、そういった部会などが中心となって運営をしていただいているという状況です。</p> <p>東・西・南・北・中央・上河内・河内生涯学習センターにつきましては、</p>

センターの文化祭になりますので、センターを中心に利用団体や、地域の文化協会等にもご協力いただきながら文化祭を運営しているというのが基本になっております。その他、詳細なところについては、中央・東生涯学習センターから、ご説明いただければと思います。

増渚委員長

では、中央生涯学習センターお願いします。

事務局（中央）

中央生涯学習センターにおきましては、利用者団体の方にアンケートを出しまして、文化祭を行うにあたって、実行委員会の委員として活動していただけるかどうか、各団体に照会をしまして、そこで手を挙げた方が中心となって実行委員会を組織しております。

その他に、登録している団体に案内を出して手を挙げた方、そちらと合わせて文化祭を実施しております。

増渚委員長

次に、東生涯学習センターお願いします。

事務局（東）

東も同じような状況ですが、基本的には出演者・出展者及び、担当の8地区から推薦をいただいて、地区の体育協会であるとか、青少年指導員、連合自治会の役員など、そういった方のご推薦をいただいて、委員を構成しております。

増渚委員長

ありがとうございました。吉田委員、大丈夫でしょうか。

吉田委員

あともう一点、今日の委員の皆さんが、どのような形で実行委員会に参加されているのか、参考までに教えてもらえれば。

増渚委員長

この委員会の委員の方々に、この文化祭に関わる、あるいは関わった経験など、何らかの体験をお持ちの方のご意見をお伺いしたいと思います。

宇賀神（光夫）  
委員

戸祭地区ですが、まちづくり協議会が地区の文化祭として実施しております。私はその協議会の関係で、一緒に参画しております。

皆さん、家族で楽しむことができる文化祭なので、そのあたりを意識して協議会でも企画しているのを、私も中に入っているながら感じました。

増渚委員長

それ以外に、ご経験がある方おりますでしょうか。

野崎委員

城山地区の野崎です。関わりの問題についてですが、私は、まちづくり協議会の会長ということで、文化祭・農業祭の委員長という立場で関わっております。私の地区では体育協会が、会場の模擬店関係のテントの設営などに協力してもらっています。また、子供会・育成会の協力を得て、会

場作りや撤収など協力して運営しております。

竹内委員 陽東祭ですが、陽東小学校のPTAが中心になっています。その他には、自治会や社会福祉協議会などからも協力してもらっていますが、PTAの力によるところが大きいので、もっと地域団体と連携できるような形を考えていきたいと考えております。

森野委員 南生涯学習センターですが、今年、私たちのフェスティバルでは、市のエスパー賞の受賞者であるテノール歌手である川久保氏を呼んで演奏会を予定しておりますので、多くの方が参加していただけるのではないかと思います。

増渕委員長 特別イベントを予定しているところもあるようです。また、地域の方々の参加については、御苦労されているところもあるようですが、まちづくりに関係する様々な団体の御協力のうえで、この文化祭が開催されているということでしょうか。吉田委員どうでしょうか。

吉田委員 ありがとうございます。参考になりました。

増渕委員長 それでは、次に、報告事項の③「生涯学習課及び生涯学習センターにおける各種講座のあり方について」事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料について説明】

増渕委員長 事務局からご説明がありましたが、何かご意見ありますでしょうか。

伊藤委員 生涯学習センターの主な事業として講座があると思います。講座の内容は、趣味教養的なものが主だと思いますし、人を集めるには有効だと思います。地域教育の中では、人づくりや人間力を高めるということを掲げておりますが、どういう人づくり、どういう人をつくることを目指しているのか、そして、社会参加とか地域に貢献できる人、学んだ成果を地域につなげるなど、そういったものを具体化する講座は、どういうことを学んで、そこに繋げていくのでしょうか。私は、社会参加という点で考えると、自治会活動に積極的である市民をつくらうとか、まちづくりに積極的に取り組む人を増やそうとか、そういうことを考えていますが、もう少し、このあたりで、詰めた議論が必要なのかなと思っています。

また、趣味教養の講座については、人と人とのきずなづくりに非常に貢献していると思います。しかし、サークル活動が閉鎖的なサークル活動になっていないか、また、趣味教養を通じてサークル活動が活発化するように、メンバーの推移が増えていくように、センターが働きかけをしていく



必要があると思います。

人づくりに関係する講座は企画するのが難しいので、もっとセンターの職員といろいろと考えていく必要があるのではないかと思います。

増淵委員長

伊藤委員から、地域教育で掲げる人づくりに関しては、どのような講座を行っていけばよいだろうか、また、趣味教養的な講座やサークルも重要であるが、それが閉鎖的なものにならないようにする仕掛けが必要なのではないかなど、いろいろなご意見を頂きましたが、これについて事務局どうでしょうか。

事務局

ご意見ありがとうございます。まず人づくりについてですが、国においては、人間力について2つの要素があると言われております。1つは「自立性」を高める、もう1つは、「社会を構成し運営する力」を高めるという2つの要素を示しております。

「自立性」を高めるについては、例えば、子育て講座や介護に関する講座など、受講者に直接的に働きかける講座を実施しております。「社会を構成し運営する力」については、まさに地域でどうやって活躍するかということになりますが、ここにも2つの要素があるのではないかと考えております。

まず、趣味などで人の輪をつくり、共助の力をつくっていくことです。そのためにも趣味教養的な講座で、人の輪をつくっていくのは大事なことだと考えております。

また、直接的に地域活動に入っていける仕掛けをつくるということで、各センターの講座で言うと、地域デビュー講座などの講座も実施しております。その他にも地域学講座や人材バンクなど、学んだ人の中で、地域で活動したい人を登録し、地域で必要とする人材の情報も集めて、お互いをマッチングするようなシステムも検討しております。そのようないくつかのシステムを組み合わせ、地域で活躍できる人材をつくっていきたいと考えております。

サークルについては、現在、マナビスに登録して、広く市民に情報を公開しております。しかし、サークルによっては、活動内容などから人数的に制限がついてしまうものもありますが、原則、どなたでも参加できるようにしております。

出前講座については、現在マナビスに登録されている講師が、あまり活用されていない状況がありますので、人材バンクの構築とあわせて、もっと活用できないか検討をしております。

増淵委員長

生涯学習課でもいろいろな取り組みを現在進めているようです。また、今日提示いただいた資料のイメージ図については、よく考慮し、工夫したものを作成されたなと思います。

人づくりや、人間力については、文部科学省では、これを21世紀型市民の育成として、大きな枠組みとしてとらえております。地域社会に貢献する、地域社会をどのように発展させるかということで、追随するだけではなくて、積極的に創造的に地域社会を変えていく人材を育成していこうとなっております。

その他に何か、ご意見ありますでしょうか。

森野委員

各生涯学習センターにおいて、人材育成に懸命に取り組んでいることに敬服しております。

今、地域における課題ですが、活動を推進しているメンバーが高齢化しており、後継者がいない状況です。いつまで活動を継続できるのか非常に不安です。

そこで、コミュニティセンターにおいて未来塾というものを開設し、あまり地域活動に参加していない人を呼んで、講座を実施しております。2年間実施しまして、何人か育てており、現在各種団体のメンバーとして名を連ねております。

生涯学習の人材育成講座も地域活動に直接関われるものを積極的に進めてもらいたい。そうすると地域の活動も活発になるのではないのでしょうか。

増渕委員長

その未来塾は、どのあたりの年代の方を対象に実施していますか。

森野委員

P T Aの役員等の方が好ましいので、そういった方々から60代くらいの人を対象に実施しております。

増渕委員長

先日、成人力というものでは、日本人は世界一というデータ出ておりました。いろいろな人材育成というのをやると、素晴らしいものが出てくる可能性がたくさんあると思います。各生涯学習センターにおいては、地域では人材育成が一番大きな課題になっているということを意識して、今後も各種事業に取り組んでいただきたいと思っております。

貴重なご意見ありがとうございます。

それでは、その他にご意見がなければ、次の協議事項に移ります。

協議事項①「平成26年度生涯学習センター事業運営の考え方(案)」について事務局から説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

増渕委員長

ありがとうございました。ただ今、資料について説明がありましたが、平成25年度との変更点については、A4横書きの資料に記載されておりますが、別紙の資料についても説明をお願いします。

事務局

生涯学習センターにおける講座につきましては、講座の内容「学びの深度」による区分では、実学的な講座から教養的な講座まで、幅広い領域の講座を担うものとしております。また、「学びの深度」としては、一般的なレベルの領域を重点としております。

講座の目的「対象」による区分では、生涯学習センターは、市民に一番身近な学習機会を提供する場であることから、地域に関係するテーマの講座を展開することを重点としております。

これらを踏まえまして、平成26年度の生涯学習センターの事業運営の考え方に繋げていくものであります。

増渚委員長

報告事項③で図式化した資料がありましたが、ここで示されている講座の重点イメージが、生涯学習センターの事業運営の考え方に関係しているということです。今の説明を踏まえまして、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

宇賀神（光夫）  
委員

2点ほど質問があります。まず、生涯学習センターの事業運営の考え方のところで、基本的な考え方の最後の部分ですが、「学んだ成果を地域につなぐきっかけとなる事業に取り組んでいく。」という記載の文末の「事業」のところは、「事業運営」が適切ではないでしょうか。

また、生涯学習センターの事業についてですが、素晴らしい講座が実施されていると感じています。しかし、「うつのみや地域教育プラン」の中で、「生涯学習センターの認知度」についてのアンケート結果がありますが、その結果を見ると、生涯学習センターの場所や内容などの認知度は低いようです。せっかく様々な素晴らしい事業や講座を展開しているので、例えば、JR駅東口の通路を活用して市としてPRするなど、生涯学習についてもっと広報をしていくべきではないかと思います。

増渚委員長

ありがとうございます。今のご意見について事務局どうでしょうか。

事務局

事業運営の考え方の最後の部分につきましては、生涯学習センターの事業全体に関係するものですので、ご指摘がありましたように、「学んだ成果を地域につなぐきっかけとなる事業運営に取り組んでいく。」という記載に変更いたします。

また、「生涯学習センターの認知度」についてのアンケート結果ですが、これは、平成24年のアンケートにおいて、生涯学習センターの認知度が低いような状況が見られる結果となっておりましたので、今後も生涯学習センターの周知・啓発については、様々な方法を検討して取り組んでまいります。

増渕委員長

生涯学習センターについては、地域性がありますので、それぞれの地域における周知も考えていく必要もあると思います。

宇賀神委員からの意見は、市全体で見た場合の周知方法も考えていく必要があるのではという意見だと思いますので、事務局もいろいろな方法を検討して頂けたらと思います。

竹内委員

報告事項と関係するかもしれませんが、3点ほど意見を。生涯学習センターが行う事業は、大きく分けると3つに分かれると思っております。人が集まる事業、学ぶ事業、人をつないでいく事業があると思います。それぞれが独立した事業の場合もあるかもしれませんが、すべてが含まれている事業もあるかもしれません。

確かに趣味的な講座は必要だと思いますし、賛成ですが、生涯学習センターで行う事業は、単純に趣味的な講座に終わるのではなくて、地域に目を向けさせる工夫が必要ではないかと思います。そのためには、講座を運営するうえで細かい配慮が必要だと思いますし、講座を企画運営する職員の能力・資質も非常に問われると思いますので、研修などを積極的にやっていく必要があると思います。

また、25の地域にはコミュニティセンターがあり、生涯学習センターと同様の講座を実施しておりますので、このまちづくりの組織とうまく連携がとれるような工夫をお願いしたい。

今、地域では高齢化が進んでいて課題となっています。となり近所が高齢者に目を向けるような組織作りが進められておりますが、いろいろな知識が不足しているが現場の現状です。市職員の知識・見識が重要になってくると思いますので、職員の皆さんは、今以上に、地域が何を欲しているのかに目を向けていただきたい。

職員の皆さんは、地域で活かせる知識・能力があると思いますので、そういった職員を今後も育成してもらえればと思います。

増渕委員長

竹内委員から生涯学習センターの事業運営について、それをサポートする体制や職員の人材育成についてご意見がありました。

何らかの形で地域に関わるような人材の育成、また、コミュニティセンターとの連携についてご意見がありました。このあたりについて事務局からお願いします。

事務局

職員の人材育成についてですが、地域と一緒に事業を進めるコーディネーターとしての能力、地域を活性化させるファシリテーターとしての能力が求められてきております。現在、そういった能力を身につけられるような人材育成のシステムを考えているところであり、実践的な研修などを活用して人材育成に取り組んでいきたいと考えております。

また、コミュニティセンターとの連携ですが、中央教育審議会においても社会教育の範囲が拡大したところであり、「まちづくり」と「人づくり」がお互いに関係性があるものと認識しております。そのようなことから、まちづくり部門の担当課である「みんなでまちづくり課」や「自治振興課」とも連携を図り、事業に取り組んでおります。

委員からのご意見にありましたように、コミュニティセンターの事業においても人づくりに関わる事業が行われているので、こちらについても必要な支援をしていきたいと考えております。

増渚委員長

まさに、人をつくることは、そのコミュニティで地域社会を支える力になるということ、そして地域社会がまた人をつくっていくということだと思います。「人づくり」と「まちづくり」が両輪として働くことで、各地域が活性化する人材が育成されると思います。

また、市としても人材育成の方策を現在検討しているとのことでした。それでは「平成26年度 生涯学習センター事業運営の考え方」についてご承認いただけますでしょうか。

全員

異議なし

増渚委員長

では、ご了解いただいたということにいたします。

次に、その他「宇都宮市民大学（前期講座）の実施状況について」事務局からお願いします。

事務局

【資料について説明】

増渚委員長

以上で本日の議事については全て終了しました。皆様から活発で貴重なご意見をたくさんいただきまして、ありがとうございました。皆様の円滑な会議へのご協力に感謝いたします。

では、進行を事務局に移したいと思います。

事務局

【次回の会議日程について説明】

本日は、委員長を始め委員の皆様、長時間にわたるご審議誠にありがとうございました。以上をもちまして、平成25年度第2回生涯学習センター運営審議会を閉会いたします。